



第 58 回

葉山釣友会

目の前に広がる豊かな海。釣りブームが到来するはるか昔の昭和三八年、葉山に暮らす釣り好きたちが集まり、海釣りサークルが誕生しました。その名もズバリ「葉山釣友会」。

会はその後、栄枯盛衰を繰り返しながら、年輪を刻み続け、二年前には結



成四〇周年を祝いました。

現在、会員は男ばかり三二人。上は大正生まれの八七歳から、下は「団塊二世」の三二歳まで、年齢はまちまちですが、みな自称「釣りバカ・釣りキチ」ぞろい。釣りと魚のことになると、目の色が変わり、話が尽きません。

「まず計画を立て、仕掛けを考案して海に出る。釣った魚は自分でさばき、賞味する。釣りはこの全部が楽しいんですよ」と相談役の市原義久さん。

釣友会の活動の中心は、船を仕立て、沖合で催す海釣り大会です。初夏の五月から翌年二月まで、年に八回ほど開催。毎回キスやアジ、タイ、メバルなど魚種を決めて、釣果を競います。

ほかに魚種に関係なく、自由に釣りを楽しむ「研究釣り会」もあります。

また、毎年暮れには忘年会を兼ねた魚供養の行事も。お寺に全員が集い、この一年間に針にかかり、会員と家族の胃袋に収まった魚を供養し、その後は宴会で、大いに盛り上がります。

海がぬるみ、今年も本格的な海釣りシーズンがやって来しました。釣友会の第一回大会（五月二十二日）も目前です。「狙いはキス。早く釣りたくて、みんなうずうずしてますよ」と会長の佐藤勝利さん。そして笑いながら、こう付け加えました。「これで女性会員がいればねえ。口は悪いけど、みんな愉快な仲間ばかり。そんな釣友会で、一緒に釣りを楽しみませんか」

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎鶯のまだ鳴き慣れぬ声を聴くこの嬉しさを誰に話そう
(評) 春の気配を感じる機会は色々あるが、覚束ない鶯の初音を聴き取った作者の心ときめきが、下句に素直に表現された春の欲びの歌です。

桃の花一村染めて沈みをり甲斐駒はるか遠くかすみて
春の陽に車輪と共に吾が影のころがりてゆく川添いの道
あかあかと明かりを灯し終バスはトトロの森のネコバスの如ゆく
春寒く圧力鍋に大根と味噌と酒粕入る一品
海幸の碧き芳醇抱きこし牡蠣雑炊や柚の香添へむ
ソフトクリーム持つ店頭の人形は春一番にふんばっており
テレビ見てクラシック聴いて花見して生きるは楽し米寿の春を
渡り来し旅路の果てのこの亡骸跨線橋の下に高雀を拾ふ
漆黒のコート纏へる水澄し戯れあふごと巡りあひたり

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎千繹の櫛のたるみや鳥雲に 鈴木緋沙女
(評) 「鳥雲に」は「鳥帰る」の傍題である。

秋に日本に渡来し越冬した渡り鳥は、春になると北方の繁殖地に帰っていくのである。中七音が巧みで海岸辺りの一望の景色が大らかに捉えられた。

春浅き牀に羽乾す川鵜かな 神山 空竹
(評) 鵜は夏の季題で季重なりが問題になると思うが、一句の構成からつきつめて判断すれば、このままでよい。即ち、「春浅し」である。春がまだとこのわぬ頃の川の風景が素直に表現されている。

ポケットにいつも詩のメモ書き踏む
磯の香のしたたる若布もらひけり 高梨 久子
春潮の人あぬ小舟揺らしけり 新井 かね
おうおうと神呼び春の神事かな 熊谷 晃門

到来の菓子香りや春隣 石川 光子
米倉 久恵

◎特選 *共選

締切は、毎月3日（消印有効）。はがき1枚に、一人3首か3句まで（当季雑詠）、住所、氏名、電話番号を書いて、企画課「葉山歌壇俳壇係」まで

◎ポケットにいつも詩のメモ書き踏む 高梨 久子
(評) 読んですぐに理解できる句です。詩も俳句も思いつくとしたためたくなるものです。いつもメモをポケットにしるべせる。机上よりも外に出た時の方が、気持も自由でしょうから恵まれることが多いでしょう。書き踏むのびのびした感じが想像されます。

◎花吹雪浴びつつ衛士交代す 鈴木緋沙女
(評) この句には「御用郎」という前書があります。実景としての句の強みがあります。内容的に素直な句作りというべきでしょう。表現もすっきりしています。

春の潮人あぬ小舟揺らしけり 熊谷 晃門
坂道を登りつめれば春の海 深海志津枝
春の風邪日記の余白目立ちけり 近藤 紮
春愁やおのおの一病あるといふ 伊藤 青嵐
森閑と蒼天にあり雪連峰 高梨 民雄

町長と語る

トーク広場

第33回

心豊かで、たくましい子に育て！ 「葉山町地域子ども教室」がスタート

放課後や週末の子どもたちの居場所づくりをめざし、四月から新たに始まった「葉山町地域子ども教室」。教室を自主的に運営する実行委員会では、文化・スポーツを中心とする体験活動やお年寄りを含む地域住民との交流・ふれあいを通して、心豊かで、たくましい葉山の子を育てようと、様々な取り組みを進めています。

そこで、実行委員会会長の高木鷹夫さんと事務局長の原田啓子さんをお招きして、地域子ども教室のねらいや今後の抱負などを伺いました。



高木さん

クール」とは、どこが違うのですか。
高木 昨年度実施したサタデーふれあいスクールは、土曜休みの学校施設を借りて、子どもたちに遊びやスポーツなどの体験活動を楽しんでもらう事業でした。バレーや卓球、囲碁・将棋、マジックなど、年間を通して様々な教室を開き、大変好評でした。
今回の地域子ども教室は、これをさらに発展させ、活動の輪をもっと広げようというものです。
原田 一言でいえば、放課後や週末の子どもたちの居場所づくり。これが地域子ども教室の大きなねらいです。
そのため、教室の開催場所も増やしました。ふれあいスクールでは一色小学校だけでしたが、これに葉山小を加え、さらに地域の児童館や青少年会館、海や山など自然のフィールドも大いに活用したいと思っています。
町長 地域子ども教室は、町民のみな

さんの自主運営だそうですね。
高木 はい、これも教室の特徴の一つです。サタデーふれあいスクールは行政主導型でしたが、今回は実行委員会を作って、町民が自主的に運営する形をとりました。子ども会やスポーツ団体など、多くの方々の協力や応援があり、本当に助かっています。
町長 教室の対象になるお子さんは、小学生ですか。
原田 いえ、中学生も入ります。町内すべての小・中学生が対象ですから、教室もその年代の子たちに楽しんでもらえるものを、と考えています。
町長 具体的には、どんな活動を？
高木 今はまだスタートしたばかりなので、バレーボール（一色小）と卓球教室（葉山小）の二つだけですが、今後は自由遊びや物づくりなど、多彩な活動を予定しています。
原田 例えば、サッカーやスポーツチャンバラ、地域のお年寄りにも参加してもらおう折り紙や竹細工…。そんな教室も楽しいのではないのでしょうか。
高木 それと葉山が舞台の教室ですから、『葉山らしさ』を生かした活動にも力を入れます。そこで、夏は海洋スポーツ、秋には山歩きといった自然体験教室も計画しています。
町長 それはいい。子どもたちに葉山の自然の素晴らしさを肌で知ってもらおうきっかけづくりにもなりますし、グッドアイデアです。そのプランはぜ



原田さん

ひ実現して欲しいですね。
高木 はい、承知しました（笑）。
町長 ところで、いつも思うのですが、今の子どもは、ちょっとひ弱に過ぎませんか。
高木 そうですね。豊かな社会に育ち、つらいことや苦しい体験がほとんどありません。従って、体験活動の場を増やし、同時に地域のお年寄りやその道のプロである「人生の先輩」たちとの交流・ふれあいを通じて、たくましい子どもにも育ってもらおう。それも教室の大きなねらいの一つなのです。
原田 親の過保護も問題ですよ。ですから一度、子どもを家庭から切り離して、地域の手に乗ねてみることも大事なことです。地域子ども教室は、その受け皿でもあるわけです。
町長 素晴らしいお話をありがとうございます。さうございました。葉山の子どものため、どうか頑張ってください。

韓国文化紹介

3月4日に国際交流協会による韓国文化紹介講座が開催されました。韓国の食生活の紹介と韓国語による簡単なあいさつ、グループに分かれての調理実習が行われ、楽しい講座となりました。



葉山小学校創立80周年記念植樹

3月7日～9日に葉山小学校の全校生徒が桜・梅・栗・夏みかんなど約60本の苗木を校庭に植樹しました。



◆ライアーのしらべ 春のかぜ

5月1日(日)15時。逗子教会(京急新逗子駅1分)。ライアー演奏(泉本信子ほか) うた、手遊び、幼稚園児以上対象。大人1,300円 子ども700円 ☎0467-25-6353うみのこびと(豊島)

◆パソコン講座のご案内(全16回)

5月9日(月)から、毎週月曜日、10時～12時 町社会福祉協議会2階 ワード・エクセル・デジカメ・画像 1回1,700円(テキスト含む) ☎873-7459猪狩 ☎080-1207-6143馬場(葉山ボランティアネット)

◆第2回子育てフェスティバル開催

創作コーナーやプレイコーナーの他お買い物ごっこやパレードなど親子で楽しいプログラムがいっぱい。5月12日(木)10時～12時 福祉文化会館大会議室 入場無料 ☎875-5471葉っぱいKIDS(金田)

◆定例ボランティア活動

5月14日(土)9時30分から 老人ホーム「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ ☎875-6734大熊(ボランティア連絡協議会)

◆葉山写真塾作品展

公民館写真教室OBが日ごろの成果を発表。5月19日(木)～22日(日)10時～17時(22日のみ16時) 図書館ホール ☎787-8411 梶ヶ谷

◆第9回葉山町書道展

高校生以上、成人の書作品を展示します。5月20日(金)～22日(日)10時～16時(22日は、15時まで) 福祉文化会館大会議室 ☎875-3489みたけ(葉山町書道協会)

◆会員募集と総会のお知らせ

本会は、赤十字社の基本原則に基づいた活動を行うために、日頃から顔の見える関係を築くとともに、研修、訓練、講習会等の計画、開催による情報交換を行い、災害発生時には必要な活動を行います。入会資格：16歳以上で興味のある方 会費：年3,000円(ボランティア保険含む) 総会の傍聴をしてからでも入会可。総会日時5月22日(日)13時から 一色小学校新館 ☎875-2092丸(日赤防災ボランティア第3ブロック葉山)

◆謡曲会(素謡曲)のご案内

葉山町親世流謡曲会が春の会を開催致します。5月28日(土)10時～17時 福祉文化会館2階 番組 加茂、東北、芦刈、西行桜、弱法師、源氏供養、善知鳥、景清 ☎875-0378矢島

◆湘南国際村リブインセミナー

6月6日(月)13時30分～17時30分、7日(火)9時～12時 湘南国際村センター国際会議場 50人(応募多数の場合抽選あり) 無料 電話かファックスで行事名・住所・氏名・電話番号を明記し、☎855-1822☎858-1210かながわ学術研究交流財団 締切5月31日(火)

◆平成18年歌会始について

平成18年のお題は「笑み」です。詠進歌は、お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首と

し、未発表のものに限ります。半紙を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名、生年月日、職業を縦書きで書き、封書に「詠進歌」と書いて、〒100-8111宮内庁まで。9月30日(金)締切 郵便用切手を貼った封書に、郵便番号、住所、氏名を書き、質問事項を同封して、〒100-8111宮内庁式部職まで。

◆中国語を話そう

毎週金曜日 13時～15時 一色小学校 1時間500円 2ヶ月に1回中国家庭料理教室あり講師 王小丹先生 ☎875-5532、080-5474-3472中国語サークル

◆旧東伏見宮邸見学とサロンコンサート

大正3年創建の旧宮家の別邸での恒例の見学会とワイン&ティー付きサロン・コンサート。今回は原善伸のクラシックギターです。主な曲目はバッハのシャコンヌやスペインの曲です。5月8日(日)13時30分開場、14時開演 イエズス孝女会修道院(あけの星幼稚園内) 前売り3,000円、当日3,500円 ☎876-2233(杉浦)

◆ゴミ減量推進フリーマーケット

5月3日(火)～5日(木)、6月4日(土)・5日(日) 横須賀市役所前公園にて町民出店料無料のリサイクルフリーマーケットを開催します。出店を希望する個人・団体の人は往復ハガキで申し込んでください。詳細をお知らせします。〒240-0115 上山口1885 ☎878-7900ゴミ減量推進国民の会(木内)

掲載を希望するときには、6月号は5月2日正午まで、7月号は5月31日正午までになります。企画課(☎内線333)へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。